



成魚は4月頃汽水域で多く見られる。擦れに弱く鱗がはがれやすい。北潟湖産 全長：約25cm

ニシン科 コノシロ属

【全長】30cm

コノシロ

学名：*Konosirus punctatus*

分布域

ほぼ日本全国に分布する。

生息域

主に沿岸部に生息し汽水域にも侵入する。



夏期には幼魚が確認される。北潟湖産

体形は側扁し、背中線・腹中線は角張る。体色は銀白色で光沢が強い。頭部に黄色い斑紋があり、鰓蓋後部に暗色斑が有る。体表面は弱い粘液で覆われる。側線より上部に縦状の細いラインが数本並ぶ。背鰭の最終軟条が1本だけ長く伸長する。沿岸部～汽水域に生息する。食性は動物食がやや強い雑食性で主にアミエビ類を食べる。産卵期・産卵場所など詳細は不明。汽水域では通年視られるが、4月頃にだけ成魚の生息数が異常に増える。

水槽での飼育は難しい。擦れに弱く鱗がはがれ易い。性格は非常に臆病で、水槽内で暴れ、ガラス面にぶつかり死んでしまう。

在来種

周縁魚

汽水魚

※ 群れで行動し釣りや定置網などで獲れる時は、大量に獲れる。背鰭の後方の軟条が1本だけ長く伸び特徴的。やや小骨が多いが身は非常に美味しい。